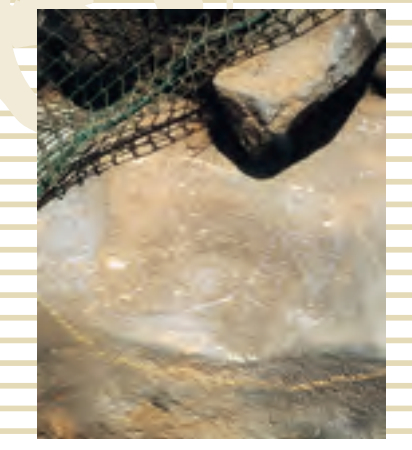


MAIZURUJO PARK 舞鶴城公園 Walker

チョット探検!



線刻画
石垣石材の表面に細く引つ撞いたような絵が描かれています。☆印や井、鳥や魚、×印が多く見つかっています。なぜそのような絵があるのか理由はハッキリと分かりませんが、事故もなく無事に石を積み上げ、石垣が崩れることのないように祈りを込めて刻んだのかも知れません。稲荷櫓台の周辺に鳥や魚の線刻画があるので探してください。(細く弱いものなのでさわらないで見てください)



やまな矢穴
矢穴は大きな石を割るために開けた四角い穴です。公園内には矢穴を開けて割った石切場が残っていて、当時の石割の技術を知ることができます。舞鶴城では時代によっても矢穴の大きさが違うので、石垣の積み方と見比べて探してみてください。四寸矢穴(約12cm) 400年前の築城期 野面積み石垣 三寸矢穴(約9cm) 300年前の江戸時代中頃



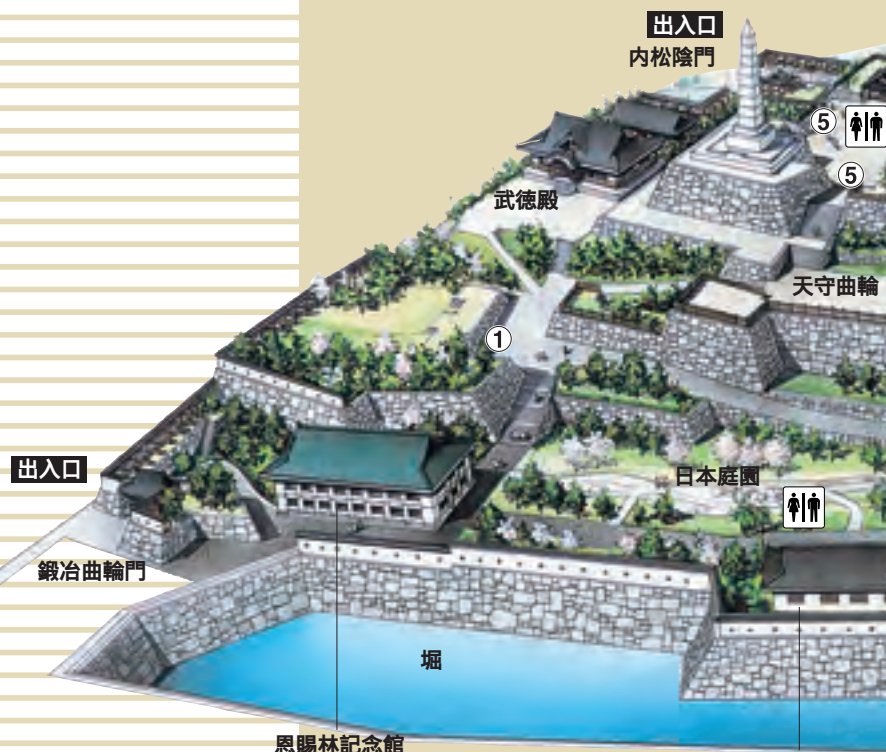
城内の発掘調査で出土した築城期の瓦



内松陰門

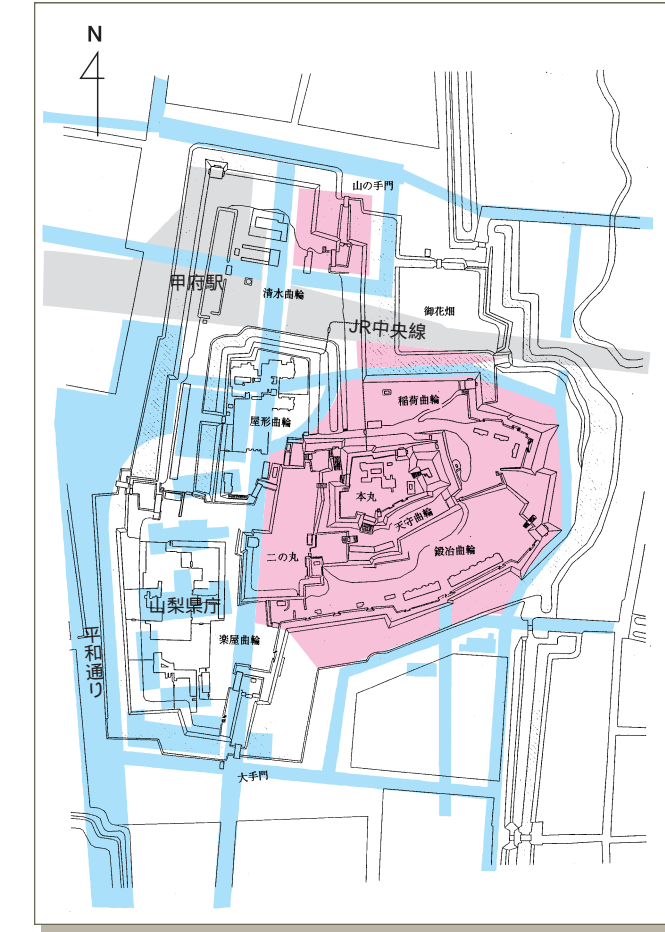


鍛冶曲輪門

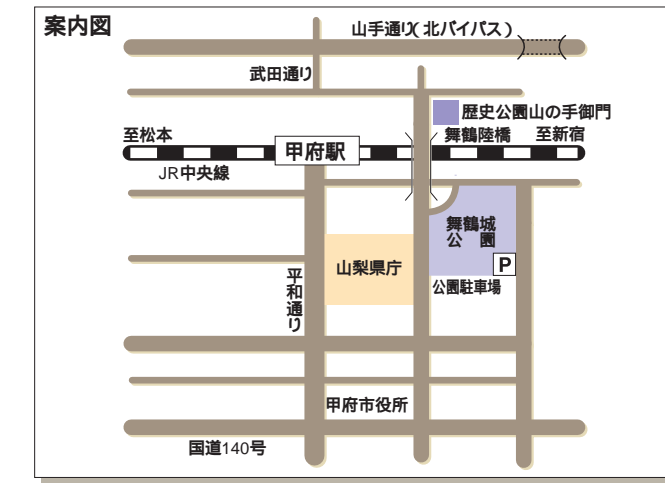


公園管理事務所

舞鶴城公園 MAIZURUJO PARK 県指定史跡 甲府城跡



現在都市開発された部分 現在残っている甲府城跡



公園駐車場はバス・身体の不自由な方の専用駐車場

年	舞鶴城関連事項
1582(天正10)	本能寺の変、徳川家康が入国、平岩親吉が城代となる
1590(天正18)	豊臣秀吉が天下統一、家康関東へ転封
1591(天正19)	羽柴秀勝(秀吉の甥、秀吉の養子)が入国 秀勝が岐阜へ転封、代わって加藤光泰が城主(24万石)となる 築城を本格的に開始
1592(文禄元)	文禄の役、光泰朝鮮へ出兵
1593(文禄2)	光泰釜山の陣中にて病没、浅野長政・幸長が城主(22万5千石)となる
1597(慶長2)	慶長の役、幸長朝鮮へ出兵
1600(慶長5)	関ヶ原の戦い、長政・幸長東軍として戦う
1601(慶長6)	長政・幸長が和歌山へ転封 徳川家康の命により平岩親吉が再度城代(6万3千石)となる
1603(慶長8)	徳川義直(家康九男)が城主(25万石)となる
1607(慶長12)	義直が清洲に転封(親吉は犬山へ転封) 城番制が設置される
1615(元和元)	大坂夏の陣(豊臣氏滅亡)
1618(元和4)	徳川忠長(将軍秀忠二男)が城主(20万石)となる
1632(寛永9)	忠長監禁を命じられ、再び城番制がしかれる
1661(寛文4)	徳川綱重(将軍家光三男)が城主(25万石)となる
1664(寛文4)	半世紀ぶりの大修理
1678(延宝6)	徳川綱重(綱重嫡男)が城主(25万石)となる
1704(宝永元)	綱重、將軍綱吉の養嗣子縁組により江戸城に移る
1705(宝永2)	柳沢吉保が甲斐国を受領、大名領となる(15万1千石) この頃薄土佐藤三左右衛門が金角崩れに精通、大和郡山の金角養殖の祖 城内の曲輪修復や殿舎の造営が行われる
1706(宝永3)	柳沢吉里(吉保嫡男)、大和郡山へ転封
1724(享保9)	甲斐国一円が天領となり、甲府勤番の設置
1727(享保12)	甲府城大火(本丸御殿、櫓門などを焼失)
1734(享保19)	城内に盗賊が侵入(御金蔵破り)
1854(安政元)	日米和親条約の締結により開国
1866(慶応2)	勤番制を廃止、城代を設置
1867(慶応3)	大政奉還(江戸幕府滅亡)
1868(明治元)	明治維新、板垣退助ら率いる新政府軍が無血入城、鎮撫府が置かれる
1871(明治4)	山梨県誕生
1874(明治7)	廃城、内城のみが残される
1876(明治9)	内城全体に動機試験場設置、葡萄等が栽培される
1877(明治10)	鍛冶曲輪跡に葡萄酒醸造所を設置
1897(明治30)	清水曲輪跡に中央線甲府停車場を設置
1900(明治33)	楽屋曲輪跡に県立甲府中学校を建設
1904(明治37)	城内を舞鶴公園として開放
1906(明治39)	遊亀橋架橋、稲荷曲輪跡に機山館を新築
1922(大正11)	本丸に慰霊碑建設
1926(昭和元)	内城石垣の一部(楽屋曲輪)を解体
1927(昭和2)	鍛冶曲輪跡に県庁を新築
1953(昭和28)	鍛冶曲輪跡に恩賜林記念館を新築
1968(昭和43)	県指定史跡(史跡名称「甲府城跡」)となる
1990(平成2)	舞鶴城公園整備事業に着手
2004(平成16)	稲荷櫓完成

稲荷櫓	午前9時から午後4時30分まで 入館は午後4時まで
開館時間	
休館日	月曜日(祝日は開館) 祝日の翌日 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)
入館料	無料

お問い合わせ

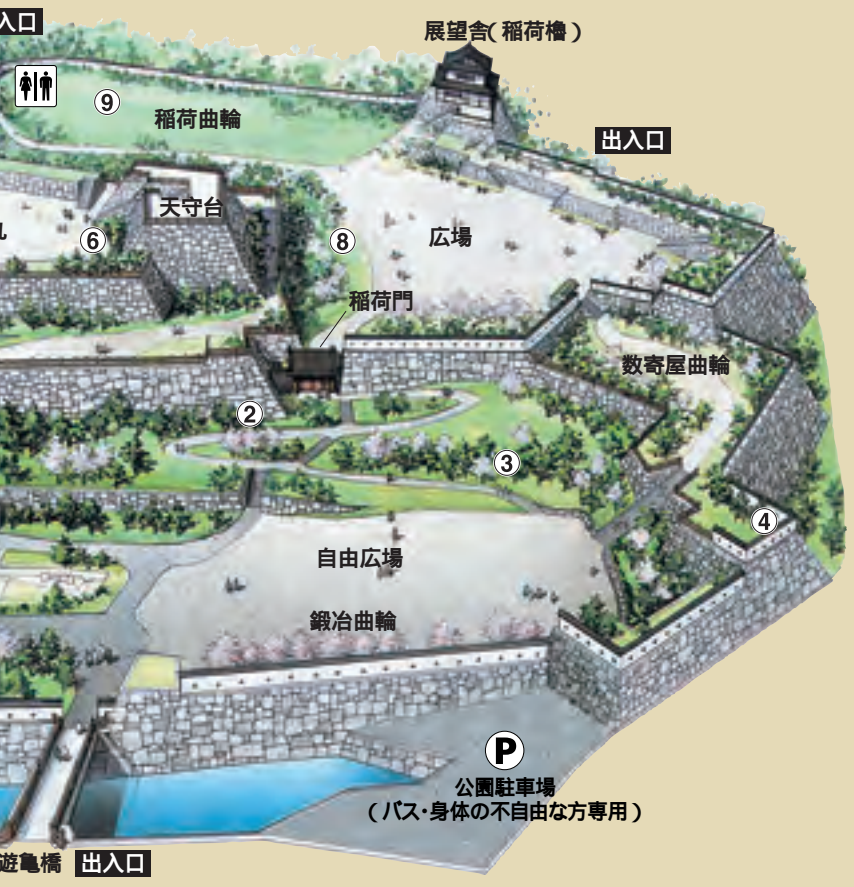
- 舞鶴城公園管理事務所(公園利用に関すること)**
〒400 0031 山梨県甲府市丸の内1丁目5-4
TEL.055 227 6179 055 233 6030
- 山梨県中北建設事務所(公園管理に関すること)**
〒400 0065 山梨県甲府市貫川2丁目1-8
TEL.055 224 1673
http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/ch-kensetsu/index.html
- 山梨県教育委員会学術文化財課(史跡管理に関すること)**
〒400 8504 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1
TEL.055 223 1791
http://www.pref.yamanashi.jp/kyouiku/gakujutu/
- 山梨県埋蔵文化財センター(歴史・埋蔵文化財に関すること)**
〒400 1508 山梨県甲府市下曾根町923
TEL.055 266 3016
http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizuru-bnk/index.html
- 山梨県観光物産連盟(ボランティア・ガイドに関すること)**
〒400 0031 山梨県甲府市丸の内1丁目8-5
県民情報プラザ1階
TEL.055 231 2722
http://www.yamanashi-kankou.or.jp

見てみよう!

- 坂下門石垣** 時代の異なる石垣を見比べてみてください。
- 水溜** 絵図にも描かれていない秘密の水溜。
- 石切場跡** ここからも石垣の石を取りました。
- 数寄屋櫓跡** 別名翼櫓と呼ばれていた建物がありました。
- 鉄門跡・網門跡** 当時の礎石を見てください。
- 天守台石垣** 一つの石を二つに割った「兄弟石」がいくつかあります。探してみよう。
- 暗渠** 水をうまく排水するためのもので抜け穴ではありません。
- 庄司稲荷跡** 鎌倉時代からこの地を守る庄司稲荷がありました。
- 煙硝蔵跡** 甲府城の火薬庫であった建物がありました。



稲荷門



天守台



発掘された暗渠(数寄屋曲輪)



発掘された井戸(天守曲輪)



整備された園路と広場(本丸)



堀石垣下より検出された桐木

チョット一息!

温泉のはなし
「温泉、御城内、楽屋曲輪の御門前水道に湧き出、旱天には湯煙たつ、御城内なれば、何症に應ずるといふ事は不分明、眠気によしとの云伝へあるよし、(宝暦年間 野田成方『裏見寒話』) 楽屋曲輪(山梨県庁構内)には、当時温泉が湧き出ていたようです。効能は脚氣・眼病と言われています。お城の中の温泉とは、これまた風流なことです。